

一般社団法人日本鉱物科学会
2018年度第3回定例理事会 議事録

- 【1】 招集通知年月日：2019年8月2日(金)
【2】 開催年月日及び時刻：2019年8月29日(木) 13:00～15:00
【3】 開催場所：東北大学理学部理学合同A棟4階402室
日本鉱物科学会事務局
(ZOOMによるオンライン会議)
【4】 理事総数および定数：総数 22名，定足数 12名
【5】 出席理事数：21名 (WEB会議参加)

榎並正樹，宮脇律郎，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，
大藤弘明，大和田正明，鍵 裕之，川本竜彦，河上哲生，
黒澤正紀，辻森 樹，土屋範芳，富岡尚敬，中村美千彦，
永井隆哉，永真真理子，長瀬敏郎，伴 雅雄，森下知晃，
吉朝 朗

- 【6】 欠席理事数：1名 塚本尚義
【7】 出席監事：平島崇男
【8】 オブザーバー：(幹事，各委員長，報告者)

出席：栗林貴弘会計幹事
磯部博志行事幹事，三鉱連絡委員
大谷栄治IMA小委員会委員長

欠席：興野純Elements幹事
佐藤努特務幹事(会員増対策担当)，会員区分等検討WG
委員長
門馬綱一新鉱物・命名・分類委員会委員長，JpGU2019
年度学会選出プログラム委員
林信太郎教育普及委員会委員長
坂野靖行博物館委員会委員長

【9】 議事概要

定足数12名を超える21名の理事が出席し，定款30条により理事会
が成立したことを確認した。今回の理事会も多くの理事に出席し
ていただくよう，ZOOM Meeting WEB会議ソフトを利用して開催
した。榎並会長が議長に選出された後，榎並議長はWEB会議シ
ステム(ZOOM Meeting)の通信状況(出席者全員の音声と映像が
即時に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題
がないことを確認し，2018年度第3回定例理事会を開始した。
まず初めに，会議に先立ち，榎並会長の指名により事務が書記を
担当することになった。

1. 審議事項

第1号議案 新入会承認の件 (河上会員幹事・理事)

河上会員幹事により一般会員7名，学生会員36名(記載省略)の
入会申し込みが紹介され，合計43名の入会が承認された。

第2号議案 2019年度修正収支予算案の審議 (栗林会計幹事)

栗林会計幹事により，2019年5月25日第2回定例理事会で承認さ
れた2019年度予算案が7月31日の決算前の予算で未定のところ
が多いため，7月の決算後に修正予算案を立て当第3回理事会に提出
し最終承認を受けることが第2回定例理事会で承認されていたこ

とが説明され，顧問先の会計事務所にて8月19日に決算が確定し
た後，繰越金を記載し，現在の会員数による会費納入見積り，そ
の他各費目などの積算予算を現状に合わせて明確な数字を計上
した2019年度修正収支予算案が提示され，質疑応答の後，予算案
は承認された。

第3号議案 社員総会の日時・場所・総会議事及び計算書類など
の審議(2018年度決算及び事業報告，監査報告)
(榎並会長，平島監事，栗林会計幹事)

榎並会長により，2019年9月21日開催の2018年度定時社員総会
開催に向けて以下の審議事項について説明がなされた。

1. 社員総会開催日程と場所：榎並会長により，2019年9月21日
(土)8:45～10:10に九州大学伊都キャンパス大講義室 IIにおい
て2018年度一般社団法人日本鉱物科学会定時総会を開催する
提案があり，異議なく承認された。
2. 監査報告：平島監事により，2019年8月29日(木)9時30分より学
会事務局において実施された2018年8月1日から2019年7月31日
までの一般社団法人日本鉱物科学会第 期事業年度における
会計及び業務の監査実施結果について別紙のとおり報告がな
された。
3. 「2018年度総会資料決算及び事業報告」：榎並会長により監査
を受けた事業報告，総会議事について，栗林会計幹事により決
算報告内容について説明がなされ，質疑応答の後，決算及び事
業報告は異議なく承認された。
4. 上記の承認を受け，「2018年度決算及び事業報告」を2018年度
定時総会へ提出することとなった。

最後に榎並会長から，定時総会議事録には出席役員として出席
理事の氏名を記載するので，ぜひ出席(委任状，書面による議決
権行使可)するよう依頼があった。

第4号議案 招待講演者ガイドラインの件
(鍵行事委員・理事，説明磯部行事幹事)

鍵行事委員・理事により，数年前から懸案であった以下の「一
般社団法人日本鉱物科学会年会での招待講演に関するガイドラ
イン」と「一般社団法人日本鉱物科学会年会におけるシンポジウ
ム開催に関するガイドライン」の提案があった。詳細は磯部行事
幹事により説明がなされ，異議なく承認された。

一般社団法人日本鉱物科学会年会での
招待講演に関するガイドライン

1. このガイドラインは日本鉱物科学会年会でのスペシャルセッ
ションまたはシンポジウム開催における招待講演者とその講
演への対応について規定するものである。
 2. 招待講演
(1) 年会スペシャルセッション
招待講演者はコンピーナーが選び，原則として各セッション1
名までとする。
但し，コンピーナーの要請で複数名に依頼する場合は，会計，
庶務幹事を交えて行事委員会と協議して決める。コンピー
ナーは，講演を依頼する方の氏名とメールアドレスのリストを
作成し，WEB講演登録開始前までに行事委員会委員長へ提出す
ること。
なお，行事委員長名で，招待講演者に対してメールで講演依
頼の文書を送付する。
 - (2) シンポジウム
招待講演者はシンポジウム主催責任者が選び，原則として2-4
名前後とする。
招待講演者への依頼はシンポジウム開催責任者から講演依頼
の文書を送ることとする。
学会主催のシンポジウムの場合は，会長名で講演依頼文書を送
る。
3. 招待講演者の講演時間

(1)スペシャルセッション

基調講演となるような発表に関しては、コンピーナーの裁量で講演時間を設定できる。

但し、全体の時間が限られているので、最終的にはプログラム委員会の提案に従う。

なお、通常の講演時間は質疑を含めて15分とする。

(2)シンポジウム

基調講演となるような発表に関しては、シンポジウム主催責任者の裁量で講演時間を設定できる。

但し、全体の時間が限られているので、最終的にはプログラム委員会の提案に従う。

なお、通常の講演時間は質疑を含めて15分とする。

4. 参加登録費・懇親会費、交通費について

(1)招待講演者が非会員の場合、参加登録費と懇親会費は無料とするが、交通費は原則として招待講演者が負担する。

但し、招待講演者の交通費について、コンピーナーやシンポジウム主催責任者から本学会会計負担の要請があった場合、会計、庶務幹事を交えて行事委員会と協議して決めるが、支給は年会外部補助金、懇親会剰余金が見込まれる場合のみ可能となる。

(2)招待講演者が会員あるいは共催学会会員の場合、通常の会員価格で参加登録費や懇親会費を負担する。

このガイドラインの変更は理事会の議を経ること。

このガイドラインは、一般社団法人日本鉱物科学会設立の登記日に遡って適用されるものとする。

一般社団法人日本鉱物科学会年会における
シンポジウム開催に関するガイドライン

1.シンポジウム企画概要提案書を、開催1年前である前年度第1回理事会に提出して審議承認を得ることとする。

2.通常セッションとの平行開催とするか単独開催とするか、および招待講演者リストを含むシンポジウム企画書(決定案)は、開催年の第2回理事会に提出して審議承認を得ることとする。

このガイドラインの変更は理事会の議を経ること。

このガイドラインは、一般社団法人日本鉱物科学会設立の登記日に遡って適用されるものとする。

第5号議案 JMPS編集委員会内規の変更

(吉朝JMPS編集委員長・理事)

吉朝JMPS編集委員長により、現在のJMPS Chief Handling Editors(副編集委員長)2名の限定を以下の経緯により、3名に変更する内規変更の提案がなされ、審議の後、異議なく承認された。提案理由:長期の出張や学内業務の急な追加などで、負担がかかることがありことから、2名から複数名への変更が過日のJMPS編集委員会メール審議で承認され、当理事会には3名を提案することとなった。

JMPS(Journal of Mineralogical and Petrology)編集委員会内規抜粋
変更箇所

現在:(4) 編集委員長は、編集委員から 2名を副編集委員長に指名する。

変更:(4) 編集委員長は、編集委員から 3名を副編集委員長に指名する。

第6号議案 2019年度の理事会開催日の審議

(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事から2019年度第2回定例理事会と第3回定例理事会開催日程案が提案され、諸状況と条件の説明がなされ、質疑応答の結果、現状の範囲内で以下の通り承認された。

(1)2019年度第2回定例理事会開催日程案:2020年5月23日(土)

会場は鍵理事のご協力で東京大学理学部1号館の予定。

(2)2019年度第3回定例理事会開催可能期間:2020年8月26,27,28日の中から平島監事の都合を考慮し、2020年5月23日の第2

回定例理事会で決めることになった。

2020年8月26,27,28日監査、理事会開催の理由:

・2020年9月17日(木)が東北大学での2019年度定時総会開催となるので、書面議決権行使を認めている場合は、総会招集通知送付日と総会開催日を14日間空けなければならない。一方、郵送での書面議決権送付が受け取れる最終日は、年会初日の9月16日となるので、この場合はその2週間前の9月1日に発送しなければならない。9月1日(月)まで総会招集通知を出す(理事会で承認された総会資料報告書計算書を送る)ためには、2020年8月26,27,28日頃に事業報告、決算報告の監査を実施し、理事会を開催して総会資料の承認を受ける必要がある。総会資料のコピーと封入に時間を要するのでこれ以上遅くはできない。

その他の議案

(1)消費税10%引き上げ後の購読会員価格の件

(河上会員幹事・理事,説明栗林会計幹事)

栗林会計幹事より、消費税導入後、長年据え置いてきた現在の購読会員価格(消費税込み)が提示され、2019年10月から消費税率が10%へ引上げになることから、今まで原材料や諸経費の消費税値上がり分を今後学会で負担することが難しくなってきたので、適正価格に是正を行いたいとの説明があり、改定価格についての意見が多々あったが結論に至らず、今回の議論を踏まえて次回2019年9月21日の第1回定例理事会への継続審議となった。

Journal of Mineralogical and Petrological Sciences年間1set(6冊)

8,400円 書店には10%割引7,560円

岩石鉱物科学年間1set(4冊)6,000円 書店には10%割引5,400円

なお、当学会は課税売り上げが1千万円以上の団体ではないので消費税納税義務はなく、消費税は納付していない。

11. 報告事項(2019年5月25日第2回定例理事会以後の業務報告)

1. 会長・副会長の職務執行報告(榎並会長・宮脇副会長)

各業務は各担当者に一任していることから、会長、副会長から個別の報告は特にないので、以下の順に沿って、各担当者に報告を行った。

2. 会員報告(河上会員幹事・理事)

河上会員幹事により以下の通り、2018年度第2回定例理事会(2019年5月25日)以後の会員動向の報告がなされた。

物故会員3名(名誉会員1名、永年会員1名、シニア会員1名)、退会者37名(内訳:シニア会員9名、一般会員15名、学生会員13名)、住所不明者8名(一般会員3名、学生会員5名)であった。なお、2年会費未納者のリストは9月21日の第1回定例理事会まで納入がない場合に報告することとなった。2019年8月29日現在の会員数総数は880名(内訳一般会員565名、シニア会員175名、学生会員90名、永年会員36名、名誉会員14名)で2018年9月3日の定時総会後より16名減少となった。

3. 広報報告(大藤広報幹事・理事)

大藤広報幹事により、広報活動について以下の通り報告がなされた。

1) 会員へのML送信(2019/5/26以降5件)を実施した。内容:年会開催関係、アンケートお願い、総会予告、関連学会案内等。
2) 2019連合大会の日本鉱物科学会ブース展示を行った。1. 学会誌GKK, JMPSの紹介と配布、年会、表彰、入会案内、2. 学会会員執筆書籍の展示・紹介、3. 学会員に配布されている“Elements”の紹介と配布、4. 「一家に1枚:鉱物-地球と宇宙

の宝物」ポスターの紹介と配布, 5. 寄贈試料の展示, 6. 学会紹介ポスター刷新, 7. 偏光顕微鏡を設置し, 薄片観察を実演・体験。3) 2019連合大会初日の5/26にブース出展者がエントリーできる無料のショートセミナー「偏光顕微鏡で覗く岩石薄片の世界」を実施(機材は愛媛大学提供)。高校生を中心に30名弱の参加者があった。また, その宣伝を学会の公式TwitterとFacebookアカウントを通じて行った。なお, ショートセミナーの参加者にはお土産として(ジョイテックさんより提供いただいた)ミャンマー産のスピネルとヒスイ(限定3名)を配布した。ショートセミナーと偏光顕微鏡薄片観察の実演は好評であった。今後は中高生へのアプローチを考えたい。

4. 渉外報告(森下渉外幹事・理事) 特になし

5. 和文誌編集報告(長瀬和文誌幹事・理事)

長瀬和文誌幹事により, GKKの編集状況について以下の通り報告がなされた。

1) 編集状況: 2019年8月29日現在, 岩石鉱物科学47巻3号, 4号, 48巻1号, 2号の合計4号が発行された。掲載件数頁数は原著論文2件38p, 資料・解説9件71p, 訂正1p, 新刊紹介3件2.5p, ニュース(他学会案内, 公募等) 0.5p, 投稿規定9p, 学会記事(理事・総会議事録)51p, その他の記事2p, 追悼文1p, 総目次3p, 広告4件4p, 白頁3p, 4号分合計頁186p, 1号平均頁46.5p。発行予定状況: 48巻3号(10月初め発行予定): 原著論文1編, 資料1編, フィールド紹介1編。2)現在査読中論文: 0編。3) 2019年9月20日(金) 12:00 ~ 12:30にGKK編集委員会を開催予定。編集委員の交代など検討する。

6. 英文誌編集報告(吉朝英文誌幹事・理事)

吉朝英文誌幹事により, JMPSの編集状況について以下の通り報告がなされた。

1) 投稿数状況: 5月26日以降 原著論文7編(ロシア1編, 中国1編, Letter 9編(2019JpGU大会講演Letter募集: 申込12件中投稿7編)(インド1編)。2) 編集状況: 早期公開中0編, 受理論文3編, 査読中: 19編 返却中: 5編, リジェクト1編。3) 発行状況: 114巻3号(6月号)7月11日公開, 114巻4号(8月号) 原著論文5編, Letter 1編印刷中, 114巻5号(10月号) 受理論文3編印刷準備中。113巻4号(8月) ~ 114巻3号(6月)(2019年8月28日現在)6号分の掲載内容: Articles 25件260 p, Letters 7件37 p, Technical 1件11 p, 規程 5 p, Index 5 p, Contents 5 p, 白頁 3 p, 合計頁 326 p, 1号平均頁 54 p。4) 2018 JMPS Impact Factorは, 1.472となり2017年1.030より上昇した。5) 2019年年会発表講演論文募集投稿申込締切日: 2019年10月15日(火) 締切日厳守, 原稿提出締切日: 2019年11月25日(月) 締切日厳守。6) JMPS メール会議報告: 2019年7月25日から8月2日まで下記の2点についてメールで審議した。・副編集委員長の人数を3人にする内規変更。JMPS編集委員会で承認されたので, 当理事会に諮り承認された。・編集委員の追加: 河上哲生(京大), 福山薊子(秋田大) JMPS編集委員会で承認されたので当理事会に報告した。7) 2019年9月20日13:00 ~ 13:30 2019年第2回編集委員会開催予定。新副編集委員長, 編集委員の交代, 特集号状況, ページチャージ30%割引の見直し等について審議予定。

7. 庶務報告(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事により, 以下の様な報告がなされた。

1) 2019/06/21: 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞, 若手科学者賞および研究支援賞受賞候補者の-学会内-推薦募集お知らせ。2) 2019/07/23: 一般社団法人定時社員総会「招集通知」の電磁的方法(メール)採用への同意お願いのアンケート実施 締め切り2019/08/28。3) 2019/08/08: 日本鉱物科学会選出2020年JpGUプログラム委員として下記の方に継続してお願いした。(正)門馬綱一, (副)西原 遊。4) 2019/08/19: 一社)日本鉱物科学会2018年度 定時総会 開催の事前お知らせ。5) 理事会開

催準備, 連合への対応, 後援・共催・協賛対応, 会員への連絡, 事務局管理など。6) 2019/09/21: モンゴル資源地質学会との協定調印式を総会中に実施予定。

8. 行事・年会報告(磯部行事幹事, 2020年LOC委員長土屋理事)

磯部行事幹事と2020年土屋LOC委員長により以下の通り報告がなされた。

1) 2019年年会開催状況(磯部行事幹事)

6月24日(月) 10時から7月16日(火) 20時まで年会講演申込サイトにて申し込みを受け付けたところ, LOCのご尽力により, 申込数は222件と昨年より多かった。そのうち発表優秀賞エントリー35件と昨年より2件増えた。LOCにより会場準備も進み, 8/13に日程表とプログラムを年会HPに公開した。2019年年会では以下が企画されている。(1) 科研費説明会(9月19日(木)13:00-15:00), (2) モンゴル資源地質学会との協定調印式(9月21日(土)総会後半), (3) 巡検(9月23日(日・月): 一泊二日阿蘇・九重地域の火山と地熱帯), (4) 見学会(9月23日(日)9:00-12:00九州大学「高標本」と工学部「列品」), (5) 一般普及講演(9月23日(日)13:00-15:00「日本の国石・ひすい」(会場九州大学西新プラザ) また昨年同様, 最終日の講演終了後, クロージングセレモニーを実施する。2) 2020年年会報告(土屋範芳2020年年会運営委員会委員長)

開催日時: 2020年9月16日(水), 17日(木), 18日(金), 一般普及講演19日(土)

開催場所: 東北大学青葉山新キャンパス

(地下鉄東西線青葉山駅下車徒歩3分圏内)

東北大学環境科学研究所ならびに青葉山コモンズ, 理学研究所 2020年年会運営委員会委員
委員長: 土屋範芳(環境科学), 会計責任者, 企業展示募集責任者。副委員長: (行事委員会との接点)岡本敦(環境科学)(2019年度行事委員に参画する)。副委員長: (学会本部との接点)中村美千彦(理学)。副委員長: (鉱物系研究者との接点)杉山和正(金研)。副委員長: (プログラム)辻森樹(東北大)。学会行事委員会との接点: (正)岡本敦, (副)宇野正起。プログラム関係: 辻森樹, Web係: 宇野正起(環境科学), 平野伸夫(環境科学)学会ホームページの掲示。募集他webの内容は学会行事委員マター, LOCとしての情報提供などを所掌(実質的には宇野さんが学会行事委員との接点になる)。会場係(設営, 学生バイトなど): 栗林貴弘(理学), 無盡真弓(理学), 松本恵(理学)。懇親会係: 奥村聡(理学)。アウトリーチ係: 長瀬敏郎(理学)このほかに巡検を開催する場合にその担当が必要。

9. Elements 報告(興野Elements幹事) 特になし

10. 細則等検討委員会報告(大和田幹事・理事) 特になし

11. 将来企画委員会報告(宮脇副会長)

宮脇将来企画委員会委員長より以下の報告がなされた。

「普及講演会」と「科研費説明会」の準備・開催の運営方法(行事委員会, LOC, その他の分担)について, 次回9月19日(木) 15:00-16:00開催の将来企画委員会で審議し, 直後の第1回定例理事会に諮りたい。

12. 特務幹事(会員増対策担当)報告

(佐藤幹事, 代理河上会員幹事・理事)

佐藤会員増対策担当特務幹事, 代理河上会員幹事・理事により以下の通り報告がなされた。

1) 2019年8月1日からの会計年度会費徴収から適用されたElements不要のシニア会員希望者は30人となった。毎年, 年度切り替え前に希望者を募る予定。2) 会員からのご意見など, 情報収集のためアンケートを2019年7月23日から8月28日まで実施した。200人余りの会員から貴重なご意見をいただいている。集計

結果は9月21日の第1回定例理事会にて行う。

13. 地惑連合報告 (阿部JpGU連絡担当委員・理事)

阿部JpGU連絡担当委員により以下のような報告がなされた。
<連合大会について>・JpGU将来ビジョンTFを立ち上げ、あり方について議論を始める(9月から)・2019年大会のアンケートにご協力を。会場で配られる飲み物(ビール, コーヒー, リポDなど)についても、是非ご意見を投稿して欲しい。・ハイライト論文, プレスリリースの効果など, 今後検証する。・フットサル行事が盛況だったことから, 来年は他にミニイベントを公募する予定(例: ジョギング50人くらいまでなど)。・固定セッション(英語セッション)提案について: 2019年8月2日付の固体地球セクション執行部から榎並会長あてに, 可能な限り英語でのセッションとして提案するようお願いの手紙が紹介された。<その他>・2年に一度の代議員, セクションプレジデント, 理事選挙。9/12までが代議員立候補受付。そこから1月まで一連の選挙, 立候補受付などの行事が続く。

14. 学術会議報告 (大谷学術会議連携会員)

大谷学術会議連携会員により以下の通り報告がなされた。
1. 大型研究計画の評価について, マスタープラン2020の策定に向けて: 5月の連合大会のユニオンセッションにおいて, Public評価, 同時に 学術会議の科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会の下の地球惑星科学分野の大型研究計画評価小分科会にて審査(11名の委員)6月17日に順位付け順位: ミュオグラフィ, 広域観測(リアルタイム観測), 革新的質量分析技術開発, 戦略的火星探査, 極域科学, CASESAR (彗星アストロバイオロジー探査サンプルリターン) 今後, 科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会において, プレゼン課題を選定, プレゼンと評価。2. 夢ロードマップの公開: 改訂版(最終版)。3. IMA小委員会関連・CGMのメンバーの交代: 宮田博士から阿依アヒマテイ博士への変更をCGMの委員長に連絡し, 承諾を得た。・CNMNC(新鉱物命名・分類コミッション): 宮脇律郎博士がコミッションチェアマンになった。門馬綱一博士が新たに日本を代表するコミッションメンバーに加わった。・M&M9 conferenceはBulgaria, Sofiaで2020.7.5~7.7に開催されるIMA関係ビジネス; 2020年EMUにおいて, 行われる。・Councilのメンバーとして, 大藤教授(GRC)を推薦した。SecretaryのHans-Peter Scherfに連絡・IMAビジネス会合EMC(European Mineralogical Conference), Cracow Poland 2020: September, 6-10, 2020。・IMAの総会: Lyon France, 2022: IMA・EMC2020においてCPM(Commission of Physics of Minerals)-IMAのセッションを提案: Mineral Physics and Planetology: A Journey Across the universe. Conveners: Conveners P. Comodi (Italy), C. Mccammon (Germany), E. Ohtani (Japan)

15. その他

1) 萬次郎賞受賞者の件 報告 (榎並会長)

榎並会長により, 2019年5月25日の第2回理事会で承認された今年度の渡邊萬次郎賞受賞青木義和名誉会員について以下のような報告がなされた。

事務局より青木義和名誉会員に受賞案内を差し上げたところ, 6月21日にご息様より青木名誉会員は長期病気療養の後に逝去されたこと, そして推薦書の修正, Elements用の英文記事作成, 写真はすべて学会に任せる旨のお返事をいただき, また, 後日ご遺族から, ご逝去の月日は2月24日との連絡もいただいた。これを受けて, 選考委員会で話し合いがなされ, 結果, 故人に同賞をお贈りすることを再度確認し, 会長, 副会長と庶務幹事もこれを了承した。したがって, 今年度の渡邊萬次郎賞はご遺族にお渡しし, 青木義和名誉会員のご仏前に報告していただくことになることについてご理解をお願いしたい。

2) 感謝状辞退の件 報告 (榎並会長)

榎並会長により, 2019年5月25日の第2回理事会で承認された奥山康子会員へ感謝状をお送りする件について, 以下の様に報告がなされた。

6月17日付けで, 事務局より会長名で奥山会員に連絡を差し上げたところ, 辞退したい旨の返事をいただいた。これを受けて, 6月20日に榎並より直接, 感謝状をお送りしたい理由の説明と来年度仙台で開催予定の年会の席で贈呈したいので是非お受けくださいとのお願いをした。これに対して, 再度感謝状を受け取ることは固辞したいとの返事があり, つきましては, 奥山会員のお気持ちを配慮して, 感謝状の贈呈は行わないこととする。

3) JpGU学協会長会議報告(榎並会長) 特に無し

4) International Symposium on Water-Rock Interaction (WRI) 東北大学招致協力の件 WRT-17招致 報告 (土屋理事)

土屋理事により, 5月25日の第2回理事会でご承認されたWater-Rock Interaction WRT-17招致の件, シベリアのTomskで開催された大会で選出され, 2021年8月に東北大学を会場にする開催が招致できたことの報告がなされた。今後, 日本の現地委員会, 仙台現地委員会などの組織化, 日本地球化学会と日本鉱物科学会が中心となり, 特に日本鉱物科学会の協力が不可欠との説明があり協力依頼があった。

5) 新鉱物・命名・分類委員会報告 (門馬委員長) 特に無し

6) 教育普及委員会報告 (林委員長) 特に無し

7) 博物館委員会報告 (坂野委員長) 特に無し

8) JpGUプログラム委員会報告 (JpGUプログラム委員) 特に無し

9) その他 (榎並会長)

榎並会長より, 以下について報告がなされた。

1) 日本鉱物科学会編集の下記2書籍が刊行され, 各書店からの協力で, WEB上やチラシで会員向けに宣伝をしていること。「日本の国石「ひすい」-バラエティーに富んだ鉱物の国-(成山堂書店), 鉱物・宝石の科学辞典(朝倉書店)

2) 年会開催中の災害時のアナウンス方法について, 広報委員会の協力も得て, 行委員会とLOCとでEBでのアナウンスなどの方法が検討中であること。

【10】閉会

以上の議事を終え, 15時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため, 出席した会長, 副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年(2021年)2月15日

会 長 榎並正樹 印

副会長 宮脇律郎 印

監 事 平島崇男 印

(配布時押印省略)